



(福)はしま

羽島市・高齢福祉、障がい福祉

従業員数／男性37名 女性136名 計173名 ※令和元年12月1日現在

エクセレント
POINT

- ①シフト調整等により専門学校で学びたい職員を配慮
- ②病気療養中や育児中でもキャリアアップを支援
- ③婚活中の職員への積極的な情報提供



手術後に一時的に身体的な負担の少ない業務の担当となった介護職員の奥田真子さん。「体力的、精神的にも安心して仕事を続けることができた」と話す。

公私にわたって手厚くサポート

社会福祉法人「はしま」では、職員のキャリアアップへの思いを法人一体となつて支えようと、職員が専門学校等に通学する場合は、授業のない時間に勤務できるようにシフトを調整したり、一時的に正職員から契約職員に変更して勉学の時間を十分に確保できるように配慮したりしている。現在は2人が准

職員も法人の費用負担で受講することができるとのこと。これらの配慮から、2016年度の各種資格取得者は5人だったが、18年度は19人になっている(いずれもべ人数)。

看護職員を目指して専門学校に通学中。介護職員初任者研修は、介護職員だけでなく、その他職種の

体調を崩したり育児中の職員へも手厚く配慮。介護職員の奥田真子さんは2年前、手術が必要な病気にかかり、診断書に基づいて必要な期間取得できる特別休暇、病氣休暇を取得し、1ヶ月間休んだが、その間の給料は全額受け取ることができた。復帰後は身体的な負担の少ない業務に代わり、今では夜勤をこなせるまでに回復した。「体力的にも精神的にも安心して仕事を続けることができた」と話す。

3歳の子どもがいる生活相談員の花木裕一さんは、子どもの成長をしっかりと見守りたいとの思いから、看護休暇などを活用して子どもの健診や保育園の行事などに積極的に



子どもの保育園の行事にも積極的に参加しているという生活相談員の花木裕一さん。専門性が生かせる業務をしながら育児との両立が図れていることに充実感を感じているという。

参加。「休みが取りやすくてありがたい。自分の専門性も生かすことができている」と笑顔を見せる。

他にも育休中の職員に、職場内外での研修の資料を提供したり、状況に応じて育児の支援者となる家族とも面談を行ったりと、スムーズに復帰できるような支援もある。結婚を希望する職員のために、県の従業員結婚支援団体に登録し、県や市町村等の婚活イベントを周知する取り組みもある。